



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 11. 5

下水道機構の『新技術情報』 第67号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



秋も深まり、紅葉情報が気になる今日このごろです。紅葉は『もみじ』とも読みますが、もともと「秋になって紅葉・黄葉すること」を指す動詞「もみつ(紅葉つ・黄葉つ)」からきていて「もみじ」という植物がある訳ではないのだそうです。一般的に赤く紅葉する「カエデ」を「もみじ」と呼ぶようになったのだとか。なるほど！

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第67号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

・平成24年度高知県下水道地震・津波対策ガイドライン策定および津波シミュレーションを用いた耐津波対策基本策定に関する資料整理業務の企画競争参加者を公募します！

・10月25日(木)、下水道研究会議分科会・定時総会が富山市で開催され、当機構も参加しました

・10月29日(月)、下水道機構の第48回理事会を開催しました

・10月30日(火)、下水道機構の事業報告会を開催しました

★機構の動き

・今週は、11月8日(木)に国土交通省下水道国際・技術開発調整官 白崎 亮 氏をゲストにお迎えし、「下水道資源のエネルギー利用と技術開発の動向」をテーマに技術サロンを開催します！

★Tea Break

・続・機構家族会(技術評価部 匿名希望さんからの投稿です)

★【新コーナー♪】まる子のゆいまる

・今週は、研究第一部 尾崎部長より「ISO/TC224 WG7 第10回会議(ワシントン)」出張報告をお届けします！

★国からの情報

・11月2日付、下水道ホットインフォメーション

.....
インフォメーション (最新の話です)
.....

●平成24年度高知県下水道地震・津波対策ガイドライン策定および津波シミュレーションを用いた耐津波対策基本策定に関する資料整理業務の企画競争参加者を公募します！

企画提案書提出期限は、平成24年11月19日(月)17時00分までとなっています。詳細は、機構ホームページをご覧ください。

→ http://www.jiwet.jp/pdf/shiryouseirigyomu_kouchi_tsunami.pdf

●下水道研究会議分科会・定時総会が10月25日(木)に富山市で開催され、当機構も参加しました

午前中は(これからの下水道)、(下水道の経営的課題)、(下水道の技術的課題)の3分科会に別れ、話題提供と討議が行われました。富山市さんからは「コンパクトなまちづくりと下水道」、長崎市さんからは「長崎市の排水流量計について」、JSからは「アセットマネジメントについて」それぞれ話題提供が行われました。

午後の総会では来賓から以下の講演が行われ、熱心な討議が行われました。

- ・国土交通省塩路下水道事業課長より「平成25年度予算概算要求と最近の下水道の話題」
- ・下水協片桐技術指針課長より「耐震指針類の改定に向けた基礎資料」
- ・国総研横田下水道室長より「下水道管路施設の耐震・液状化対策」
- ・下水道機構石田資源循環研究部長より「エネルギー消費に関するベンチマーク指標とエネルギー回収技術」
- ・土研鈴木材料資源研究グループ長より「下水処理場の段階的機能回復と放流水質」

●10月29日(月)、下水道機構の第48回理事会を開催しました

今回の議案は、第11期評議員の選任でした。審議の結果、13名の評議員が再任されました。なお、任期は平成24年11月1日から新公益法人制度下における移行の登記をする日までです。また、広報のパワーアップ、津波対策と高度処理の支援、リアルタイム雨水情報ネットワーク、下水汚泥エネルギー有効利用など、現在、各部が取り組んでいる事業の報告を行いました。

●10月30日(火)、下水道機構の24年度事業報告会を開催しました。

東京青山のアイビーホールにおいて、出捐者・賛助会員の皆様を対象にした下水道機構の事業報告会を開催しました。

特別講演は、横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院の佐土原 聡教授です。テーマは「自然・人工の環境インフラとITが創生するスマートな都市・地域～地球環境問題と災害への総合的対応のアプローチ～」で、人口減少、超高齢化等による都市のコンパクト化が進展する中、様々なマネジメントが可能なエネルギー基盤が構築しやすくなっており、スマートな社会をつくっていくための取り組み等についてご講演がありました。続いて、各部からの事業報告です。企画部からは「下水道機構の事業のあらましとWebを活用した情報共有の取り組み」、研究第一部からは「同時硝化脱窒による高度処理の適用性の評価」、研究第二部からは「下水道用マンホールふたの計画的な維持管理と改築」、資源循環研究部からは「新型焼却炉のN₂O削減技術」等について報告しました。また、最後に事務局から「新公益法人制度に向けた取り組み」について報告しました。これにつきましては、平成25年4月の移行を目指して各種手続き等を進めています。

機構の動き (機構の行事予定です)

●平成24年11月8日(木) 17:00～18:00

第309回技術サロン

場所：機構8階会議室、講師：国土交通省下水道部 下水道国際・技術開発調整官 白崎 亮 氏、テーマ：「下水道資源のエネルギー利用と技術開発の動向」

※参加お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-309.htm>

●平成 24 年 11 月 14 日(水) 14:00～17:00

平成 24 年度第 2 回 管路技術共同研究委員会

場所:下水道機構 8 階 中会議室、議案:シールド切替型推進工法、管路の機能回復システムの審議

●平成 24 年 11 月 15 日(木) 15:00～16:30

平成 24 年度第 1 回 水処理技術共同研究委員会

場所:下水道機構 8 階 特別会議室、議案:酸化剤を用いた余剰汚泥削減技術の審議

●平成 24 年 11 月 16 日(金) 13:00～17:00

第 60 回(平成 24 年度 第 1 回)新技術現場研修会

場所:株式会社 G&U 技術研究センター (埼玉県比企郡川島町大字吹塚 732-157)

●平成 24 年 11 月 16 日(金) 14:00～17:00

平成 24 年度第 2 回 新技術設計手法等共同研究委員会

場所:下水道機構 8 階 特別会議室、議案:大規模災害情報システムの審議

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●続・機構家族会 (技術評価部 匿名希望さんからの投稿です)

本日、下水道機構では成果報告会・OB 会が開催されます。機構ではこの他に、出向元や出向職員及びご家族との絆を深めるため「父兄会」や「家族会」などが開かれます。以前、メルマガ第 33 号(H24.2.13)の Tea Break で下水道機構の「家族会」のことを書かせていただきました。今回はその続編です。下水道機構では毎年 2 月の恒例行事として「家族会」というものを開催しています。これは、土曜の休日に事務所へ職員のご家族をご招待し、事務所内の見学や、職場の仲間たちとご家族と一緒に食事をしながら歓談するなどして、機構の仕事や職員の仕事内容についてご家族にご理解をいただく絶好の機会としております。私も毎年、家内や孫を連れて参加し、今年で 6 回目となりました。

会も中ほどに入ると、豪華賞品が当たるビンゴ大会が始まります。会場は子供や大人達の歓声で大変盛りあがってきます。前回この欄で、私が初参加時に当たった英国製の高級下着をゴルフ大会や釣行時の勝負着として愛用させていただいていることを恥ずかしくもなく書いてしまいましたが、ここからが続編です。今年の家族会(ビンゴ大会)にも勿論、着用して参加しました。そして、見事効果が出て、3 人目の「ビンゴ!」をゲットしました。豪華賞品が数多く並ぶ中から 1 位、2 位の方々が玩具や旅行券を選んでくれたことから、3 位の私に iPad が残されていました。瞬間、孫が「おもちゃが欲しい!」という前に、そして若手職員からのプーイングが飛び交う中、私は iPad を手にしておりました。以後、この iPad を毎日カバンの中に入れ、出張先でのメール利用や各種マニュアル類・会議資料の持ちこみ、新聞・雑誌・地図の閲覧など仕事や遊びに多いに利用させていただいております。なお、当日は孫が以前から欲しがっていた電車のおもちゃを池袋のデパートで買って、3 人で楽しく家路に着きました。

れました。次回（来年1月予定）は、具体的な業務指標案について議論される予定です。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000255.html

○下水道工事における安全対策の徹底について【下水道事業課】

10月27日、高知市において下水道管渠を築造するための推進工事中、推進機先端付近より土砂・地下水が流入して、2名の方が亡くなられる事故が発生しました。これを受け、10月29日付けで、「下水道管渠のシールド・推進工事における安全対策の徹底について」事務連絡を发出了しました。

事故原因等については現在、究明中ですが、このような事故の発生を踏まえ、特に下水道管渠のシールド・推進工事においては、「土木工事安全施工技術指針」等に準じた安全管理がなされているかを重点的に確認するなど、事故防止に万全を期すようお願いいたします。

<http://www.mlit.go.jp/common/000228607.pdf>

<再掲>

報告会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の報告会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

- 「平成24年度第2回管路管理セミナー」及び「第14回下水道管路管理技術発表会」の開催について【日本下水道管路管理業協会】

(11月14日開催)

http://www.jascoma.com/jigyo/gyoji2012/2012_2kks-14gkkggh.pdf

→10月25日掲載

- 日本学術会議主催学術フォーラム（第8回）「巨大災害から生命と国土を護る - 三十学会からの発信 -」のお知らせ【環境システム計測制御学会（EICA）】

(11月29日開催)

<http://jeqnet.org/sympo/no8.pdf>

→10月5日掲載

- 平成24年度下水道光ファイバー技術講習会の開催について【日本下水道光ファイバー技術協会】

(11月9日開催)

<http://www.softa.or.jp/>

→10月5日掲載

- 「管路施設における維持管理の包括的民間委託」に関するセミナーの開催について【日本水道新聞社（日本下水道新聞）】

(大阪会場 11月12日開催)

http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2012/09/post_44.html

→9月21日掲載

- J S 技術報告会の開催について【日本下水道事業団】
(11月7日開催)

<http://www.jswa.go.jp/kisya/h24pdf/240911kisya.pdf>

→9月13日掲載

=====

【参考情報】

- ◆燃える大輪 800 本 大津・湖西浄化センター <10/27 京都新聞>

<http://www.kyoto-np.co.jp/sightseeing/article/20121027000133>

- ◆COD 目標値を厳しく 諏訪湖水質保全第6期計画案まとまる <10/27 長野日報>

<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=26602>

- ◆琵琶湖保全に内湖活用 滋賀県、再生ビジョン素案 <10/28 京都新聞>

<http://www.kyoto-np.co.jp/environment/article/20121028000115>

- ◆水質と生物多様性の調和を 中環審の瀬戸内海部会が答申 <10/30 福井新聞>

http://www.fukuishimbun.co.jp/nationalnews/CO/science_environment/638302.html

- ◆想定外の土砂 救出阻む...検証・下水道工事事故 <10/30 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kochi/news/20121029-OYT8T01349.htm>

- ◆下水汚泥から固形燃料製造 <10/31 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/fukui/20121031/CK2012103102000005.html>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■

発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■